

# 山下市長

## 議員定数6減に賛成

### 報酬削減案は 来月議会に提案 審議会答申で

生駒

生駒市の山下真市長は26日、議員定数を24から6減らす直接請求による条例改正案に賛成意見を付け、12月7日開会の定例議会に提案すると発表した。同時に直接請求された議員報酬30%削減案には反対意見を付け、審議会が答申した12%削減案を提案する。議会改革に関する検討会で定数は「現状維持」の方向性を出している議会がどう判断するか注目される。【熊谷仁志】

削減案は、いずれも市民団体「見張り番・生駒」（阪口保代表幹事）が有権者の署名を集めて直接請求した。意見書では、定数削

から14年春までに22

える、現行のまま

で予定される市議選に

る。

はいかないと思う」と話した。

一方、議員報酬については「有為な人材確保のため、妥当な報酬額確保は必要」として、市特別職報酬等審議会

答申の12%削減に賛意を示した。

市議会は27日から12月5日にかけて、市民との意見交換会を開く。来春の統一地方選

向けて早期の結論を迫られている。

◇

山下市長は26日、2期目の退職金を、規定から3割カットした1期目とほぼ同額にする意向を示した。報酬審議会答申通りの給料月額10%削減と、退職金25%減を盛り込んだ条例改正案を12月定例議会に提案する。

市によると、今年2月2日に任期満了を迎えた1期目の退職金は約1775万円。条例改正案が可決されれば、2期目は約1717万円になる。